



NO. 11/2025 (通算813号)
2025・9月号
建交労 関西合同支部
e-mail kgs8815@yahoo.co.jp
TEL 075-205-0421
FAX 075-203-8405 部内資料

第21回建交労中央定期大会

物価高騰を乗り越える大幅賃上げ実現へ！
2026年度建交労中央方針を確立！！

8月30日（土）から8月31日（日）の日程で、建交労第27回定期大会が群馬県安中市で開催され支部から傍聴を含め8名が参加し大会は無事に各議案を成立させることができました。

主催者のあいさつを行った足立中央執行委員長は、「国政では2つの選挙を通じて、自公政権に有権者が審判を下した。大幅賃上げを実現する為、障壁になっている政治の問題はどこにあるのか、自公政権は莫大な税金を軍事費に使うのはなぜか。どの政党が伸びれば要求が実現す



るのか、組合員と対話し、日常活動を作ることが大切だ。」と指摘。続いて「今年は被爆80年、フェスタを広島で開催し、若い組合員にも反核・平和の運動を引き継ぐ取り組みが大切であり共感が広がっている。要求闘争と憲法を守る運動強化し、組織拡大で強化できるよう1年間ともに奮闘しよう」と呼びかけられました。

次に廣瀬中央書記長による「10万人アンケート全組織取組みの追及」「組合員の結集及び日常活動の強化、強大な組織建設の推進」「全国一律最低賃金の法制化、1500円以上の実現」「建交労結成25年の到達点を活かした経済闘争の展開」「改憲阻止・大軍拡反対運動の推進」など2025年度運動方針の提案にもとづき1日目22名、2日の討議15名の37名が発言しました。支部からの発言では、初日にトラック部会特別代議員で参加された村上全国トラック部会幹事が「酸素部会の1年間の総括」、2日目の討論では京都府本部特別代議員の筒井書記長が「京都トラック部会の産業別闘争の総括」について、支部の代議員で参加した橋本委員長より「支部の1年間の総括」とそれぞれ発言を行いました。運動方針は各代議員の発言や各地のとりくみによって補強され、最終日に2025年度財政方針案などとともに採択し、最後に足立新中央執行委員長の発声で団結「がんばろう！」を三唱し大会を終えました。



8月号に引き続き 原水禁世界大会長崎大会報告！

今月は先月8月7日～9日にかけて原水禁世界大会に参加した、
支部派遣団の感想を一挙に掲載します

長崎大会は初めての参加で3日間すごく色々な経験をさせてもらいました。敬朋の墓について詳しく教えて頂き被爆80年敬朋墓前夜に参列し10人の先輩の方々に手を合わせることができ心が痛みました。長崎県本部執行委員長のお話では胸にグッとくる話ばかりで大変勉強になり、テレビの映像では見ることはありますが実際現地でしかわからないことも多く肌で感じることができて参加してよかったです。

まだ世界大会に参加していない方も是非参加してもらいたいです。 京都分会 山本

原水禁禁止の運動について学び、核兵器の恐ろしさや平和の大切を改めて感じました。被爆者の体験を知ることで核兵器が人間の命や生活をどれほど破壊するかよくわかりました。今を生きる人達ができるることはこうした悲劇を二度と繰り返さないようにすることだと思います。平和な世界を目指すためにこれからも原水爆禁止の声を上げ続けることが大切だと感じました。

東播分会 香川

原水爆禁止大会の資料や証言を通じて、核兵器がもたらす被害の大きさを改めて実感しました。長崎の被爆者の証言には心が痛みましたし、その苦しみが今もなお続いていることを知って核兵器は過去の問題ではなく今も続く問題だと気づかされました。一人ひとりが平和を守るという意識を持ち原水爆禁止の願いを未来に繋げていくことが必要だと思います。

東播分会 平谷

今年は被爆80年の年で日本被団協がノーベル平和賞を受賞した年に機会があり長崎の世界大会に参加させてもらい記憶に残る大会となりました。今の自分たちが暮らしているのも世の中が平

和であるからだと考えることができました。被爆者の方の平均年齢が上がってきて当時のことを探る人が少なくなる中、語り部の方は40名ほどしかおられないと言きました。歴史を語り続けていくことが大切なことだと意味のない戦争を続けることを1人1人に伝えることが今の課題だし私も考えていくことが大切だと思います。ノーベル平和賞を受けたことが力になると信じて毎年過ごそうと思います。 大阪分会 宮出



原水禁世界大会感想集

原水爆禁止2025世界大会に参加させていただき改めて核兵器の恐ろしさと被爆者の方の体験の重さを感じました。被爆者の体験談は言葉にできないほどの悲しみと怒り、憤りを感じました。そして平和への強い想いが伝わってきました。

核兵器のない世界にするためには、私たち一人ひとりが核兵器の脅威を認識して行動していくことが大切だと強く感じました。

今回の大会で得たものを活かし、平和な未来のためにできることから行動していきたいと思います。 大阪分会 荒木

原水禁世界大会にはじめて参加させていただきました。

被爆者の残した言葉を忘れず核兵器廃絶を訴え続けるよう、今の若い人たちの未来を作るためにも活動していきたいと感じました。 大阪分会 三浦

今回で2回の参加になりますが原水爆の悲惨さを体験談を聞いて改めて実感しました。原水爆は熱戦や爆風だけでなく放射能の影響により何十年も原爆症で苦しみそして亡くなっている最悪の兵器であるという事、そしてその兵器をいまだに保有していることに怒りを感じました。今後私たちは人類から核兵器が無くなるように運動を強めていく必要があると思いました。

内田ライン分会 富田



充実の補償内容と安心のサポート 自動車共済



今すぐお電話を！お見積もり無料です!!

お見積もりの際には、現在ご契約の自動車保険証券等をお手元にご用意ください。

西日本自動車共済

自動車共済



見直しませんか!?

事故が起きた時、相談から解決まで親切・丁寧！

1車検証と前契約の保険証コピーにて即お見積もり！

2もちろん！無事故割引の継続OK!

3自賠責もお受けします。

自動車共済に新規加入された方には、今なら2000円のクオカードをプレゼント中

京都府・大阪府本部定期大会開催

京都府本部

9月7日（日）に京都府本部定期大会が京都高齢者会館で開催され、支部からは10名が参加しました。発言では福知山分会の大山代議員が「関西合同支部の1年間の総括」と筒井書記長が「札幌ドライバー過労死認定を勝ち取る会」の協力要請の発言を行いました。今大会で提起された議案は全て採決されました。

また京都府本部役員選挙では執行委員長に重村副委員長、副委員長に足立副委員長、書記次長に筒井書記長、会計監査に福知山分会の杉山さんがそれぞれ選任されました。



大阪府本部

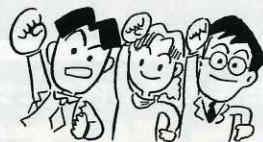
9月14日曜日に国労大阪会館において建交労大阪府本部第27回定期大会が開催され支部全体で8名が参加しました。

質疑・討論では太田支部執行委員が夏季闘争期間の支部の取り組みとして平和行進に高槻島本方面に5名、大阪南ブロックから堺方面に4名が参加、また長崎原水禁世界大会支部として8名、大阪分会から3名が参加し核兵器廃絶を訴えてきた報告を行いました。また交渉の報告では大田貨物班がゼロ回答からの交通費2000円を勝ち取ったことなどを報告し「これからも4つの指標に基づき関西合同支部として奮闘して行く」決意を述べ討論に参加しました。大阪府本部の仲間の活発な討論を終え、この大会で提起された議案は全て採決されました。



当面の日程<2025年>

- 9月19日 京滋労働共済総代会（教育文化センター）
- 9月25日 京都府本部常任執行委員会（京都高齢者会館）
- 10月1日 書記局会議（支部書記局）
京都府本部執行委員会（京都高齢者会館）
- 10月2日 京都府過積載防止対策連絡会議（京都運輸支局）



10月5日

第50回支部定期大会 (京都高齢者会館)

10月26日 第33回支部女性部総会（京都市伏見区）



HomePage

関西合同支部



QRコード

スマートフォンやタブレットで読み込んで下さい。
支部ホームページに簡単に入れます。

組合員専用ページパスワード
「oideyasu」（おいでやす）

